広報にいかっぷ

2013
10
No 572

新冠町ホームページ
http://www.niikappu.jp
Eメール
info@niikappu.jp

秋晴れのマラソン記録会

9月27日、新冠町民グラウンドで、新冠小学校全校児童によるマラソン記録会が開催されました。子どもたちは秋空の下を、力いっぱい走り抜けました。

議会
－第３回定例会－

９月13日に招集された第３回定例町議会は、19日、全日程を終えて閉会しました。

今定例会では、小竹町長、杉本教育長の行政報告のほか、今年度の補正予算などが審議されました。小竹町長と杉本教育長の行政報告についてお知らせします。

町長行政報告

平成25年8月18日及び9月16日の豪雨による被災状況について

８月18日の豪雨災害について、報告申し上げます。日高地方は、低気圧からのびる前線の影響により、断続的に激しい雨に見舞われ、日高中・西部の道道では、土砂崩れの可能性から、同日夜にかけ一部通行止めとなりました。

新冠町におきましては、新和で、降りはじめからの総雨量が１１７㎜を記録し、町内の道路、河川、明渠排水14ヶ所に被災を受け、これら総被害額は、４１０万円となっております。

これら被害の復旧につきましては、次期出水時に増破などが懸念されることから、８月19日専決処分を行い復旧しております。

小規模土砂流出が発生した町道

９月16日の豪雨災害について、報告申し上げます。大型の台風18号は、愛知県豊橋市付近に上陸し、関東甲信から東北を縦断し太平洋に抜け、死者３名、行方不明５名と言う甚大な被害をもたらしました。

当町におきましては、警報の発令はありませんでしたが、岩清水では、降りはじめからの総雨量が１４０㎜を記録し、若園ほか４地区で停電したほか、河川、明渠排水７ヶ所に被災を受けたのをはじめ、町道の倒木３ヶ所を処理しております。

これら被害の内、早急に復旧しなければならない８ヶ所、総額１８５万９千円につきましては、既定予算で対応しますが、採草地にかかる２ヶ所の明渠排水につきましては、冬期間の工事となりますことから、第４回定例会で補正予算を計上したいと考えております。

高規格幹線道路「日高自動車道」建設工事から発生する残土埋め立てに係る運搬作業道について

「豊かな海と森と優駿の里」から道央圏へ、更に道東圏とを結ぶ道として、北海道の広域分散型社会を支える高速道路ネットワーク形成の一翼となります「日高自動車道」の整備が進められており、「門別厚賀道路」は、平成29年度供用開始に向け工事が進められております。

このような中、新冠インターチェンジを有する「厚賀静内道路」の工事から生ずる残土約75万㎥を、パークゴルフ場奥の沢に埋立て造成し、土地の有効活用を図るため、「厚賀静内道路」工事に先駆け、埋立て造成地に通じる残土運搬用作業道の整備のため、本年７月１日付けで、当該町有地の使用貸借契約を交わし、その後測量、立木調査、表土のすき取りなどを行い、９月12日より道路改良工事を実施し、12月完成を目指しております。

この作業道は、日高食肉センターが整備した道路の終点から、新ひだか町側に面した町有地を迂回し、パークゴルフ場奥に通じるルートを造成するもので、道路幅員４ｍ、延長１・３㎞の作業道を、平成26年度より「厚賀静内道路」の工事完成が見込まれる約10年間残土の搬入埋立てを予定しており、埋立て完了後は、この作業道を町が更に整備し、新冠温泉と西泊津をつなぐ環状線として活用したく考えておりますので、これら工事に際し、地域にご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

浦河赤十字病院精神神経科の廃止方針について

浦河赤十字病院精神神経科の廃止方針に関するこれまでの経緯について、ご報告いたします。

既に、新聞報道などによりご承知とは存じますが、浦河赤十字病院が、本年度末をもって精神神経科を廃止する方針を表明しております。

当町は８月８日に、地元浦河町から情報提供をいただき、その後、管内町長会としても、地域医療に与える影響が大きいとの判断から、対応について集中的に協議することを決めておりました。

８月20日の新聞報道のあと、26日には、病院長が来庁され、廃止方針に至った経緯などについて説明を受けたところでございます。

当町としては、『日赤病院は、管内の中核病院としての役割があり、特に、各町から費用の助成を受けて改築を実施している中での、計画変更は、管内的にも理解を得づらい内容であること』『対応については、管内町長会で協議すること』についてお伝えいたしました。

管内町長会は、８月29日に第１回目の協議を行い、各町長が聞き取った内容や、資料による確認・協議を行いましたが、口頭での説明では納得できるものではないため、改めて病院関係者から説明を受けた上で、取り扱いを協議することとし、９月６日に２回目の会議を開催いたしました。

会議では、日本赤十字社北海道支部・浦河日赤病院の関係者から、経過説明を受け、意見交換を行いましたが、日赤側からは『近年の患者数減少に伴い、入院病床の稼働率が低く、精神神経科の収支バランスが悪化し、改善の見込みがたたないこと』加えて、『精神神経科医師が退職し、浦河町でクリニックを開院される見込みであること』など廃止方針に至った経緯と、廃止後の入院患者の転院の対応などについて説明がありました。

意見交換を受け、町長会としては、各町が助成をして進めている病院改築事業の、完了前における診療科廃止表明は到底理解できないことを前提に、『日赤病院は、管内の地域センター病院の位置づけがあり、精神神経科の廃止は地域住民を不安にさせるほか、地域の医療体制にも大きな影響が出る』との判断から、精神神経科存続を求める緊急の要請活動を行うことが決定されました。

要請活動は、日高町村会と日高総合開発期成会が合同で、日本赤十字社本部・同北海道支部・関係行政機関などに行うことで、９月30日から10月１日に実施することが決定されたところでございます。

当町といたしましては、８月末現在で、当該病院の精神神経科への入院実績はありませんが、管内の中核病院の診療科が廃止されることは、地域医療の後退につながりますので、今後とも管内各町との連携の中で、対応してまいりたいと考えております。

節婦ふれあいタウン６号棟の引込開閉器端子の腐食などによる過電流事故について

本年９月２日、午後７時７分頃、平成５年に建設した節婦ふれあいタウン６号棟21号及び24号において、引込開閉器端子の腐食などによる不具合が生じ過電流が生じ接続中の家電製品に損傷を与える事故が発生致しました。

通常は、北電側からは、２００ボルトで屋外引込開閉器で受電し、各戸には１００ボルトに変換し通電していますが、引込開閉器の端子の腐食などにより２００ボルトの電圧が直接かかる状況となり過電流が生じたものと思われます。

それに伴い、21号入居者の冷蔵庫外９点、24号では冷蔵庫外５点の家電などが被災し使用不能となりました。

損害額の算定は、被災した家電と同程度の物を購入した実費の金額といたしましたところ、その損害額は、21号で49万７２１５円、24号は26万５２８０円となりました。

開閉器の不具合が生じた箇所の修理は、当日の午後８時５分頃に修理作業を開始し、午後９時30分頃に終了し、その後、各戸に異常のないことを確認しております。

また、公営住宅において、同様な引込開閉器を設置している箇所は、当該団地のほか、グリーン団地、東栄団地、ゆとり野団地であることから、調査を実施し、その結果、問題ないことを確認しておりますが、今後は、定期に点検を実施して行く考えでございます。

被災した家電製品などは、日常生活に不可欠なものであることから、早急に対応することが、必要であると判断し、被災者毎に、損害賠償の和解及び損害賠償の額の決定、並びに、関連補正予算を９月３日付けで専決処分をさせていただきました。

公営住宅の維持管理につきましては、さらなる住居環境の向上及び付帯設備の安全確認を進めていく考えでございますので、ご理解をお願いいたします。

農作物の生育状況と販売状況について

町内の主な農作物の生育状況からご報告いたします。

町の基幹作物であります水稲ですが、北海道農政事務所による８月15日現在の道内の作柄状況は「やや良」が見込まれております。これは、田植え期以降の好天により分げつが促進されたものの、分げつ発生期間が短縮されたことにより、穂数やもみ数が「平年並み」と見込まれ、登熟は７月中旬以降の高温によって、もみの稔実が平年を上回り、「やや良」と見込まれるためであります。

日高管内におきましては、「穂数」、「１穂当たりのもみ数」、「全もみ数」とも「平年並み」、「登熟」は「やや良」と見込まれており、作柄も「平年並み」と見込まれております。

当町においては、日高農業改良普及センターが毎月実施しております９月１日現在の生育状況調査では、登熟が順調に進んでいることから刈り取りは早まる見込みにありますが、不稔率は５％程度となり、作況は平年並みとの報告を受けております。

また、牧草の状況ですが、同普及センターによりますと、本年は土壌凍結が少なく萌芽期（ほうがき）が早かったものの、４月中旬以降の低温により生育は遅れましたが、６月15日以降は生育も回復し、１番草は平年並みでありました。２番草も順調に生育しましたが、収穫期に降雨が続き、刈り取りが遅れたため、良質な飼料の収穫は見込まれていません。

また、飼料用とうもろこしは、春先の低温、多雨による起耕作業の遅れにより播種作業が遅れておりましたが、その後の気温上昇により生育は順調に回復し、豊作でありました昨年を超え

る収穫量が期待できます。

次に8月末現在における新冠町農協取り扱いの農作物の販売状況について申し上げます。

9月以降の収穫となる水稲及び12月末に販売額が確定する秋まき小麦を除く総販売額は、３億４６００万円で、前年から19・7％、５７００万円上回る状況で推移しております。

増額となった主な要因ですが、基幹作物として産地化が定着しておりますピーマンにおいて、作付農家数、面積ともに前年を下回り、加えて春先の低温、日照不足による生育遅れのため、昨年に比較して販売数量は減少しておりますが、全国的な数量不足のため高値取引が続いていることが挙げられます。

現在は生育も回復し、平年並み以上の収量が見込め、引き続き順調に出荷されておりますので、８年連続の３億円突破が十分に期待できます。

特産のピーマンの選果の様子

また、アスパラにつきましても、順調に生育し収量が増えたことに加え、販売単価も高値であったため、初めて４０００万円を超える取引結果となりました。

以上が農作物の生育状況と販売状況であります。

日高エゾシカ総合センター整備事業への財政支援について

当町では、エゾシカの食害により牧草をはじめとする多くの農作物で、毎年１億円を超える甚大な被害が発生しているため、町ではその対策として猟友会新冠分会の協力を得ながら有害駆除を実施し年間約２０００頭を捕獲しているところであります。

この有害駆除されたエゾシカの残滓処理は、現在、若園にあります株式会社北海道食美樂において、一部有効利用を図りながら処理しておりますが、この施設は基本的には食肉用の処理加工施設のため、年々増大する食肉用以外の捕獲個体の処理が増え、安全性を確保した中での処理ができなくなっているとのことから、事業者がかねてより計画しておりました食用と有害駆除で食用に向かないエゾシカ個体をペットフード用に加工する設備を兼ね備えた新たな施設となる日高エゾシカ総合センターの整備を行いたいとのことで、町は一昨年から施設整備に係る財政支援要請を受けていたところであります。

事業者からの計画の説明によると、日高エゾシカ総合センターは、今後、日高管内はもとより胆振東部をはじめ北海道西部地域で、さらに増え続ける有害駆除されたエゾシカを有効活用するため、道内初となる食肉処理ラインと食肉には向かないエゾシカ肉をペットフード用に加工するための処理ラインを持ち、安全かつ衛生的に処理加工を行うことが可能な施設とのことであります。

整備予定地は、緑丘の旧ユートピア加工施設を取得し改修整備するとのことで、周辺環境の保全のため、汚水処理や不快鳥獣対策も適切に行い、総事業費８０１２万７０００円、処理能力は最大で年間１万８０００頭、処理予定頭数は年間８４５０頭から１万１２５０頭を予定しており、食肉加工のほかペットフード加工までを行うものであります。

さらに、エゾシカ肉の処理加工のみならず、エゾシカ肉の解体処理技術者の養成など将来の担い手育成も合わせて行うとのことであります。

町としても増え続ける有害鳥獣被害抑制を図るため駆除捕獲を推し進めておりますが、それに伴い発生する残滓処理は欠かせなく、この処理は極めて公共性の高い事業であると考え財政支援を検討しておりましたが、多額の町費負担を伴うことからその財源対策などを検討していたところであります。

そのような中で、平成25年２月に成立した国の平成24年度補正予算において、新たに創設された地域経済循環創造事業交付金制度を活用することで国に申請をしていたところ、本年５月27日交付決定となり、町の財政支援の財源確保がなされております。

町としては、国の交付金決定に伴い、合わせて事業者と地域自治会やひだか漁業協同組合、一般社団法人日高管内さけます増殖事業協会とも公害防止と環境保全に関わる協定も締結されたことから、施設整備に係る初期投資分の資金の一部を補助することとして、総事業費８０１２万７０００円の初期投資分のうち金融機関や自己負担分を除いた４０００万円を助成したいと考えております。

日高エゾシカ総合センターは、新冠町はもとより、日高管内、北海道西部地域の有害駆除エゾシカの有効活用を図る中核施設であり、この整備なくしては、増え続けるエゾシカの食害抑制は達成できないことから、本定例会に補助金に関する補正予算案を提案しておりますのでご審議いただきご決定くださいますようよろしくお願いいたします。

診療所運営体制の現状とかかる対応策について

国保診療所の診療体制は、内科医師2名、外科医師1名の計3名の常勤医師により、内科・小児科・整形外科・外科の４診療科を標ぼうし、24時間・３６５日、救急など緊急時を含む診療体制を維持してまいりましたが先の第2回定例会の「行政報告」において、本年5月末「整形外科・外科」診療の休診につきまして報告しておりますが、その後、担当医師である室山俊則医長が7月末をもちまして退職したところであります。

今後における「整形外科・外科」診療につきましては、新冠町の産業形態から欠かすことのできない診療科目と考えますことから再開に向けて検討して参りましたが、この度、本年9月6日より札幌市在住の整形外科専門医師の協力をいただき、週1回ではありますが定期の「整形外科・外科」診療を再開することになりました。

また、内科医師体制につきましては、5月末に退職しました岡野前所長の後任として、４月から局医長が就任したことを先にお知らせしたところであります。

局医長の着任により内科医師2名体制を確保し、担当業務である入院・外来の一般診療業務をはじめ、訪問診療、福祉施設の健康管理業務、一般健診及び各種予防接種業務について、約2カ月の期間をもちまして、岡野前所長と局医長との間における引継ぎを終了し、本年6月から局医長による診療をスタートしたところであります。

しかしながら、診療業務開始後、間もなく、局医長から体調不良による一般診療など各業務対応が困難との申し出がありました。

このため、診療所内、全体協議により局医長による業務の軽減対策を実施し、様子をみることといたしましたが、局医長の体調が回復しないことから、やむを得ず、7月からの一般診療業務を終了せざるを得ない状況となり、先の町政委託文書により、町民の皆さんへお知らせしたところであります。

現在、後任の医師確保のための対策を取り進めておりますが、直ちに医師確保とならない状況にあります。

このため、現状、常勤医師・梅津所長1名体制による診療業務対応となりますことから、当診療所におけるこれまでの診療業務対応について見直しが必要となりました。

町民の皆さまには、大変ご不便とご迷惑をお掛けすることとなりますが、何卒ご理解下さいます様よろしくお願い申し上げます。

つきましては、当診療所における診療業務体制見直しの内容につきまして申し上げます。

第1点目といたしまして、病棟の入院制限を現在、実施しております。

当診療所は入院患者のための病床が18床ございます。

7月当初には16名の入院患者がおりましたが、常勤医師1名体制の状況下にあっては全ての入院患者の診療治療対応が困難な状況から、入院患者の家族の方へ医師欠員にかかる事情説明のうえ、承諾をいただき、近隣病院への転院を実施しておりまして、現時点において入院患者数8名を基本とする入院制限を実施しておりますのでご理解の程よろしくお願いいたします。

第2点目は救急対応についてであります。

当診療所における救急対応は、救急車による搬送と直接、診療所に来所される緊急患者の対応があります。

救急車による搬送につきましては、基本的に当診療所において全て受入れ対応しておりましたが、この度、一部対応について近隣病院への受入要請を行い、対応いただいております。

当町で発生します救急対応につきましては、従来どおりご心配をお掛けすることなく対応いたしますのでよろしくお願いいたします。

第3点目は、常勤医師の宿日直の負担の軽減であります。

当診療所常勤医師による宿日直対応については、入院病棟を有していること。また、福祉施設入所者の健康管理事業を受託していることから、24時間・３６５日、医師が不在となることになりません。

このため、常勤医師及び出張応援医師による輪番制により宿日直対応を行っているものであります。

この度の常勤医師1名体制の状況から、常勤医師の宿日直回数が増加し、業務の負担が増すことになりますことから、出張応援医師の増員を図り、常勤医師の負担の軽減を行っております。

第4点目は、外来診療の一部休診及び定期応援診療対応についてであります。

町民の皆さんには既に町政委託文書によりお知らせしたところでありますが、一般外来診療にかかる常勤医師の負担軽減策といたしまして、7月から毎週月曜及び金曜の一般内科・午後診療の休診と併せて、木曜に実施しておりました夜間診療を当面、休診対応といたしました。

また、週1回、定期の一般外来診療を北海道病院協会からの派遣応援医師により実施しているところであります。

第5点目は、町の関連受託事業及び民間施設等委託事業についてであります。

町関連の受託事業には、事業所健診など各種健診及び予防接種事業があります。

これまで、2名の内科医師により業務を振分けして対応して参りましたが、

新冠町立国民健康保険診療所

一部、実施時期の変更など、調整をしながら、対象となる皆さんへは事前の周知により対応して参ります。
　最後になりますが、特に町民の皆さんの救急車による緊急患者受入れ対応につきましては、不備が生じないよう、万全を期し、対応しなければならないものと考えます。
　このことから当診療所の常勤医師1名体制上、不足する一部救急車対応につきましては当診療所における常勤医師複数体制確保までの間として、新ひだか町の静仁会静内病院に救急受入れ対応の応援協力をいただきながら、町民の皆さんの医療の安心安全を確保して参りたいと考えるものであります。
　このため、今定例会における補正予算におきまして救急対応にかかる費用を計上しております。
　なお、この度の常勤医師負担軽減対策、業務の変更など対応につきましては、あくまでも常勤医師複数体制確保までの間の対応としております。
　町民の皆さんには、大変、ご不便とご迷惑をお掛けいたしますが、何卒、ご理解賜りますようよろしくお願い申し上げます。

教育長行政報告

学校教育の推進について

教育委員の活動について

　9月6日・17日の二日間で、小中学校及び認定こども園ド・レ・ミの学校訪問を行い、授業の様子を参観し、学校・園の経営の推進状況について理解を深めるとともに、今年度の教育課程に基づいた取り組みについて指導・助言をしてまいりました。

確かな学力の育成について

　4月に実施した、全国学力・学習状況調査の結果について道教委から資料が提示されましたので報告します。
　今年度は、国語科、算数・数学科の2教科で実施され、新冠町の結果は、小・中学校ともに、全ての教科で、全道平均を下回る結果となりました。
　昨年度、ほぼ全道並であった小学校では、今年度、10ポイント以上の差があり、正答数の分布をみると、中位層からやや下位層での片寄りが目立つ結果となっております。
　また、昨年度、全国レベルにあった中学校では、応用問題では、4ポイント程度とやや下回ったものの、基礎的問題では、1～2ポイントの差で、ほぼ全道並となっております。
　この要因については、現在、分析中でありますが、いずれにしても今後の学力向上に向け、適切な対応を取るべく進めてまいります。
　また、9月9日には、新冠町教育研究協議会の一次研究会が行われ、教科部会毎に分かれた研究授業を通し、これまで積み上げた、学力や命を大切にする指導を一層高める指導方法などの研究協議が行われました。

豊かな心身の育成について

　昨年10月に発覚した新冠小学校におけるいじめについてですが、現時点においても未だ終息していない状況にあります。
　いじめの内容は、悪口を言われたり、からかわれたりするというもので、学校としては、いじめの状況が確認されると直ちに指導を行い、一時的には収まりますが、暫くするといじめが繰り返されるという状況にあります。
　いじめを行っている児童は、特定の児童であり、授業中の立ち歩きなども見られ、担任教師の指導に従わない状況にあることから、校内サポートチームや、授業を複数で指導するTT体制をとるなど、学校全体で、いじめの解消に継続的に取り組んでいるところであります。
　2つ目は、北海道中学校体育大会ですが、陸上女子100mハードル、4×100mリレーに出場し、いずれも、日高大会の記録を上回りましたが、残念ながら予選敗退に終わっております。
　また、日胆地区吹奏楽コンクールでは、吹奏楽部が中学校C編成の部において、銀賞となったところです。
　さらに、この9月7日には、北海道卓球選手権大会カデットの部に新冠中学校2年生3名が出場しましたが、予選敗退となりました。
　3つ目は、学校プールの開設についてであります。
　夏休み期間中における子どもたちの居場所、スポーツ、体力の向上の場として学校プールを利用できるよう、4台のスクールバスを週3回、運行しました。
　プールの利用状況は、新冠小学校プールで532名（1日当たり24名）、朝日小学校プールで　373名（1日当たり19名）となっております。
　また、社会教育では、7月、10日間の日程で小学1年生40名を対象とした初歩の水泳指導を行うとともに、ジュニア水泳教室を開催し、9月8日には、水泳フェスティバルを開催し、今年度の開設を終えたところです。

ジュニア水泳教室の様子

　4点目は、教師の指導力と信頼される学校づくりについてです。
　今年度、教員の実践的指導力を身に付けるべく、現職教職員研修会を計画しており、第2回目の研修講座を8月19日に実施しました。
　第1回目に引き続き、ふるさと教育の一環として、今年度転入してきた教職員を中心にレ・コード館や郷土資料館のほか町内の史跡などを巡り、新冠町への理解と今後の学校教育での指導に役立てるための研修を行ないました。

認定こども園ド・レ・ミの教育・保育について

　「地域に開かれた園経営」を進めているド・レ・ミでは、7月7日、町民グランドを会場に3年目の運動会を開催しました。多くの保護者や祖父母、地域の方々が見守る中、0歳児から5歳児まで全ての入園児が元気に活動し、町民グランドを会場にした運動会を定着させることができました。
　8月には、年長児のお泊まり会と併せ、花火・盆踊り大会を実施し、地域自治会や、あいあい荘からの参加をいただき、多数の来場者のなか、地域との結びつきを深める行事ともなったところです。
　また、開設時から継続している昭和音楽大学による音楽療法の研修会では、園児の発達段階に応じた指導に加え、保育士に対する実技指導も行われ、教育・保育活動の実践的取り組みとなる研修を行ったところです。
　9月には、恵寿荘やあいあい荘、おうるの郷、ゆーあい天馬の町内4施設を訪問し、高齢者との交流を行うなど開かれた園活動の推進を図っております。

社会教育の推進について

「レ・コード館の活動」

　7月から8月にかけての夏季開設中のレ・コード館の一般見学者数は、昨年より2185名多い6828名で前年比47％の増でありました。また、有料見学者は605名増の862名で、前年比42％増となり、入館者が増えている傾向にあります。
　また、レ・コード館音楽推進事業として例年実施しております昭和音楽大学による、吹奏楽クリニックは、7月23日、24日に新冠中学校、静内高等学校吹奏楽部の演奏指導を行いました。

「青少年の取り組み」

　放課後子ども教室では現在、新冠小学校区181名、朝日小学校区55名と昨年度より登録人数が増え、好評に実施しております。中でも、6月25日、7月24日の2回日程により特別事業として実施した科学教室では、液体実験やアンモナイトを実際に見て、触り歴史を学ぶ教室行ったほか、7月8日にはアフリカジンバブエの子どもたちと民族音楽ジャナグルを通した交流会、8月2日にはペットボトルを利用したいかだづくりなど、充実した教室を行い好評を得ています。
　また、新冠町子ども会育成協議会の事業として例年実施しているバスツアーでは、8月7日室蘭市において、青少年科学館や水族館見学を行い、夏休みの有意義な1日となりました。

「高齢者の取り組み」

　高齢者大学いきいき大学では、8月2日に、バス研修として、千歳市防災学習交流センター「そなえーる」やウトナイ湖野生鳥獣保護センターで研修を行いました。
　また、8月27日には、「寄席クラ」として落語や、ピアノ、チェロによる演奏会をレ・コード館で開催いたしました。当日、新冠町社会福祉協議会の協力により200名を超える参加があり、笑いと健康、クラッシックによるリラックス効果により成功裏に事業を終了しております。

「郷土資料館の取り組み」

　本年度より取り組んでいますアイヌ名勝事業は「幌尻岳」の申請業務を行っており、6月21日、文化財保護審議委員会が文化庁に向けて、名勝としてふさわしいとの答申があり、今後、文化庁の官告示にて正式に名勝として指定されるはこびとなっております。

名勝指定申請中の幌尻岳と七つ沼カール

「社会体育の取り組み」

　8月4日、新冠町体育協会主催による第35回少年野球新冠大会が開催され、新冠野球スポーツ少年団は惜しくも準決勝で敗退しましたが、元気溢れる好プレーに多くの観客から声援を受けておりました。

「図書プラザの取り組み」

　7月22日から8月18日まで夏休み特別事業として「星と宇宙のふしぎ特集」と題し、158展の図書資料を特別展示するとともに、宇宙をイメージした展示を行ったほか、8月7日には、郷土資料館と連携し、星空観察会を実施しております。また、工作教室では「万華鏡づくり」と「ミニ七夕かざり」を実施し予想した人員を超える多くの子どもたちの参加があり好評に終了しております。
　終わりになりますが、実施5年目になります、教育委員会の業務評価の提出についてであります。
　教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況などについて、自己評価を行い、その評価内容に基づき各学校の学校評議員や社会教育委員の方々などから外部評価をいただき、議会へ評価報告書を提出させていただきました。
　今後、この評価結果に基づき、これまでの活動の見直しも図って、その課題の解決に向けた改善を進めるとともに、教育委員会の活動の活性化につなげてまいりたいと思っております。

第39回新冠町老人クラブ連合会スポーツ大会

9月4日、町民スポーツセンターで、新冠町老人クラブ連合会(中村克夫会長)主催のスポーツ大会が開かれ107名の選手が参加しました。

選手は、新種目となったスコップとお手玉を使った「夏の雪かきリレー」など計10競技に参加し、会場は、大きな拍手とたくさんの笑顔が溢れていました。

第9回新冠ライオンズクラブ杯 サラブレッドロード サッカーフェスティバル

9月8日、町民グラウンドで、新冠ライオンズクラブ(谷口貞保会長)主催による、少年サッカー大会が開かれ、日高管内の少年団23チームが参加しました。

新冠町からは3チームが出場し、「選抜の部」・「2年生以下の部」の2部門で優勝しました。

地元大会での優勝に選手や関係者は大喜びでした。

節婦金刀比羅神社完成式典

9月9日、節婦金刀比羅神社完成式典が開かれました。

節婦金刀比羅神社は、節婦地域の鎮守の社として親しまれてきましたが、高規格道路建設に支障ができることから、今年6月から移転改築工事を行い、このたび完成しました。

完成式典では、地域住民約100人が見守る中、新しい神社に魂入れが行われたほか、完成を祝っての餅まきなどが行われました。

節婦自治会では、この移転改築にあわせ、工事の様子や節婦地区の景色、日常風景を映像に残す事業も進めています。

新冠体験ツアー「歩いて・見て・感じて」

9月19日、にいかっぷ観光協会(橋本正美会長)主催の、新冠体験ツアーが開かれ、札幌市内で活動する「清田Hi遊会」の会員29名が当町を訪れ、特産のアスパラの収穫体験や判官館森林公園を散策しました。

参加者には、特にディマシオ美術館見学が好評で、絵画のスケールの大きさと大胆さに驚いていました。

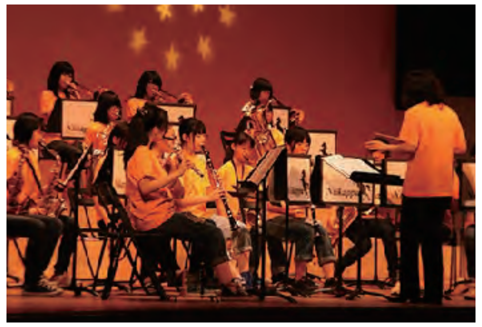
秋の福祉イベント 第8回ふれあいフェスタ2013

9月22日、社会福祉法人新冠ほくと園で、第8回ふれあいフェスタ2013が開催され、関係者も含め800名を超える参加者で賑わいました。

会場では、多くの店が出店され、新冠少年判官太鼓や施設利用者による演奏が披露されたほか、盲導犬と一緒に歩く体験コーナーなども設けられました。

まちの話題あれこれ

新冠中学校吹奏楽部 定期演奏会



9月8日、レ・コード館町民ホールで、新冠中学校吹奏楽定期演奏会が開かれました。

演奏会では、吹奏楽コンクールで演奏した「ケルト民謡による組曲」のほか、「アリス・コレクション」「あまちゃんオープニングテーマ」などを生徒のMCも交えて発表。日ごろの練習の成果を披露しました。

新冠ビッグバンドジャズフェスティバル2013

9月13日から15日の3日間、町内各地でジャズの音楽が鳴り響きました。

フェスティバルは、レ・コード館自主企画委員会(後藤正義会長)が主催、今年は演奏会前に、おうるの郷や新冠温泉などでも演奏しました。

レ・コード館で開かれた最終日のコンサートには、延べ113名の演奏者が集まり、ステージを盛り上げました。

新規就農希望者の集い「一度来て!観て!新冠」

9月22日、新規就農に興味のある人を集めて開かれた「一度来て!観て!新冠」に、道内外から男女8名の参加者が集まりました。

この体験会は、新冠町に移住し農業を始めた人たちを中心に組織された「一度来て!観て!新冠実行委員会」(清水秀人委員長)が企画し、ピーマンハウスの見学や、牧場見学をした後、昼食をとりながら、実行委員などと意見交換を行いました。

参加者は、「アットホームで人々も親切、景色もすばらしく、良い場所だと思いました」と体験会の様子を振り返りました。

高橋喜市さん 100歳おめでとうございます

9月24日、新冠町立特別養護老人ホーム恵寿荘で、来年3月3日に100歳となられる高橋喜市さんに、内閣総理大臣から祝状と銀杯、新冠町から長寿祝金が贈呈されました。

高橋さんは、昭和21年に太陽地区に入植、大豆や小豆の畑作や酪農などを営み、新冠に移住してからは、4男1女に恵まれました。

スイッチマンがやって来た!こども園食育キャラバン

9月30日、道が主催する「元気もりもり食育キャラバン」が認定こども園ド・レ・ミで開かれました。

園児は、朝食をきちんと食べること、食べ物に感謝することの重要性について、劇を通してわかりやすく説明を受け、これからは、「早く寝て・朝食をきちんと食べる」ことを大きな声で約束しました。

けんこうガイド

インフルエンザに備えよう！

かぜ		インフルエンザ
ウイルスなど	原因	ウイルス
のどの痛み、鼻水、せき、微熱　など	症状	のどの痛み、鼻水、せきなどにくわえ、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛
重症化することはあまりない	症状の重さ	まれに子どもは急性脳症、高齢者は肺炎など、重症になることがある⇒命に関わることも！

毎年、この時期、多くの人が感染するのがインフルエンザです。日本では約1000万人が感染し、インフルエンザに関連する死者が約1万人もいます。インフルエンザは風邪と異なり、重症化しやすいため、より注意が必要な感染症です。

●インフルエンザウイルスは口や鼻から入る！

インフルエンザは、ウイルスに感染した人がせきやくしゃみをすると、口から出る飛沫（小さな水滴）に乗ってウイルスが出され、それが周囲の人の口や鼻に吸入され感染します。

この飛沫はせきをした人から2mくらいまで届きます。

また、感染した人の手にウイルスがつき、その手が触れたドアノブやスイッチなどに他の人が触れ、その手で口や鼻に触れることで感染する場合もあります。

●インフルエンザを予防しよう！

①うがい・手洗い

家に帰ったらまずうがい、手洗いを。流水や石けんを使った手洗いでウイルスを除去することができます。また、アルコール消毒も効果的です。

②湿度を保つ

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下するため、ウイルスに感染しやすくなります。室内では加湿器を使い50～60％の湿度を保ちましょう。

③人ごみを避ける

インフルエンザが流行してきたら、人ごみへの外出を控えましょう。

外出をする時は、マスクをつけ、せきをしている人には近づかないように。帰宅後は手洗いも忘れずに。

④予防接種を受ける

予防接種を受けると、感染しても発症する可能性を減らし、重症化を防ぐことができます。予防接種はインフルエンザが流行する前の10～11月頃に受けておくのが効果的です。

※新冠町では、インフルエンザ予防接種の助成を行っています。

詳細については、町政事務委託文書にてお知らせいたします。

家に帰ったら、まずは、しっかり手洗いを！

●問い合わせ先
保健福祉課保健福祉グループ健康推進係
☎0146・47・2113

健康カレンダー

月日	時間	事業名	場所
10月 15日(火)	13時00分～16時30分	フッ素塗布	保健センター
10月 16日(水)	10時00分～12時00分	お喜楽☆おたっしゃ塾	節婦憩いの家
10月 17日(木)	受付 9時45分～	4・7・12カ月児健康診査	保健センター
10月 17日(木)	受付 13時00分～	1歳6カ月・3歳児健康診査	保健センター
10月 19日(土)・20日(日)・21日(月)	受付 ①6時30分～ ②7時30分～ ③8時30分～ ④9時30分～ ⑤10時30分～	特定健診 胃・肺・大腸がん検診 前立腺がん検診	保健センター
10月 23日(水)	10時00分～12時00分	お喜楽☆おたっしゃ塾	節婦憩いの家
10月 25日(金)	受付 16時00分～	二種混合予防接種	保健センター
10月 30日(水)	10時00分～12時00分	お喜楽☆おたっしゃ塾	節婦憩いの家
11月 6日(水)	10時00分～12時00分	お喜楽☆おたっしゃ塾	節婦憩いの家
11月 8日(金)	13時30分～15時00分	離乳食教室	保健センター
11月 11日(月)	受付 13時00分～	BCG予防接種	保健センター
11月 12日(火)	10時30分～12時00分	からだリセット講座	レ・コード館
11月 21日(木)	受付 9時45分～	4・7・12カ月児健康診査	保健センター
11月 21日(木)	受付 13時00分～	1歳6カ月・3歳児健康診査	保健センター

静内保健所からのお知らせ　☎0146・42・0251

月日	時間	事業名	場所
10月 23日(水)	13時00分～16時00分	女性の健康相談	※要予約（10月22日まで）
11月 1日(金)	13時30分～15時30分	こころの健康相談	※要予約（10月28日まで）

めざせ！N（新冠）K（健康）P（プロジェクト）

めざせ！ NKP
N 新冠　K 健康　P プロジェクト

脳梗塞の最大の危険因子は「高血圧」

「脳梗塞」は、新冠町の死亡原因の第3位で、全国・全道と比べると、死亡率は高い状況です。脳梗塞の1番の危険因子、それは高血圧です。

脳の血管は直角にできていたり、複雑に曲がっています。太い血管（3㎜）から急に細い血管（0・2㎜）になるため、血圧が高いと脳の血管が傷みやすい構造になっています。

新冠町の医療費をみると、高血圧で通院されている方が最も多く、平成24年5月診療分の内訳によると、高血圧や心臓病、脳血管疾患などの循環器系の病気には、2680万4810円の医療費がかかっており、とても身近な病気となっています。まずは、健康診断などで自分の体の状態を把握し、血圧が高い人は、状態が悪くなる前に、早めに医療機関を受診してください。

次に、治療をしても、なかなか血圧が下がらないという方もいるのではないでしょうか。

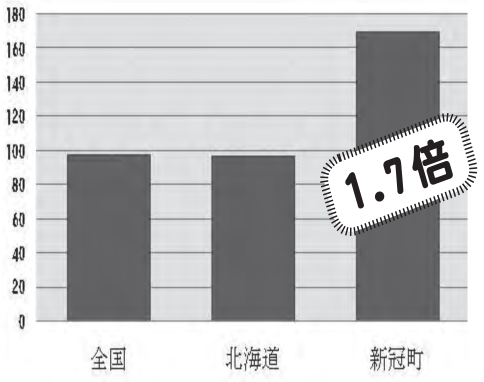
血圧が上がる原因には、遺伝、塩分、肥満、運動不足、タバコ、交感神経（過労、緊張、睡眠不足）、アルコールがあります。薬だけに頼らず、生活習慣の改善を図ることが重要です。

また、現在治療をしている人は、家庭で朝と夜の血圧を見てみましょう。

朝の血圧値が高いと感じている方で、「日中、病院などで測る値は正常値内だから」「薬を飲む前だから高くても仕方ない」「少し体を動かすと、値は下がるんだけど」という方は特に脳梗塞に注意が必要です。

夜間・早朝の高血圧は心臓や血管に負担がかかり、脳卒中などの発症率が高いことがわかっています。体調や血圧のことで気に案る事があれば、自己判断で薬の飲み方を変えずに、主治医に相談してみましょう。

脳梗塞による死亡者数
（10万人当たりの人数による比較）



●問い合わせ先
保健福祉課保健福祉グループ健康推進係
☎0146・47・2113

介護ワンポイントアドバイス 139

町独自サービスのご紹介　其の二

〈在宅で受けられるサービス〉

『ふれあい夕食事業』

調理が困難で栄養管理などが必要な、在宅のひとり暮らしの高齢者並びに高齢者夫婦世帯などに対し、定期的に訪問し、食事を提供します。

利用者負担は、1食につき350円となります。

『寿入浴事業』

75歳以上の方や身体障害者手帳などを持っている方に対し、新冠温泉「レ・コードの湯」の入浴料を年12回まで助成します。12枚の入浴券を全て使用した場合、身分証を温泉窓口に提示することで、入浴料金が100円割引となります。

また、身体障害者手帳3級以上で義足及び車椅子の交付を受けている方には、年間12回分の家族風呂半額助成券（1000円）を交付します。

介護のことは、お気軽にご相談ください。
介護支援係　高橋　昌嗣

●保健福祉課保健福祉グループ介護支援係
0146・47・2113（直通）

お知らせコーナー

最低賃金の改定

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時・パートタイマー・アルバイトなどを含む）に適用される北海道最低賃金が改定されます。

・改定額　時間額734円
・効力発生日　10月18日（金）

●お問い合わせ先
北海道労働局労働基準部賃金課最低賃金係
☎011・709・2311（内線3533）

新冠町商工会

新冠町商工会では、日高西部商工会広域連携協議会（新冠町・日高町・平取町）において、「消費者動向調査」を実施いたします。

調査票（アンケート）が届いた方は、大変恐縮ではございますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

・アンケート配布時期　10月中旬から順次発送
・アンケート回収時期　11月上旬をめどに回収

●お問い合わせ先
新冠町商工会
☎0146・47・2421
FAX 0146・47・3596

自衛官募集案内

次のとおり自衛官を募集します。

○自衛官候補生（男子）
・資格　満18歳～満27歳
・受付　通年受付

○高等工科学校生徒（男子）
・資格　中卒（見込含）17歳未満
・受付
①推薦　12月6日（金）まで
②一般　1月10日（金）まで

○募集説明会
・日時
①10月12日（土）12時～15時
②11月9日（土）12時～15時
・場所
新ひだか町地域交流センター「ピュアプラザ」2階

●お問い合わせ先
自衛隊札幌地方協力本部静内分駐所
☎0146・44・2855

平成26年度入校生募集

国立北海道障害者職業能力開発校では、求職中の障がい者の入校生を募集しています。

・募集訓練科及び募集人員
①総合ビジネス科　20名
②建築デザイン科　20名
③プログラム設計科　20名
④総合実務科　20名
⑤CAD機械科　10名
・受付期間
11月1日（金）～20日（水）
・選考日
12月2日（月）8時50分～

●お問い合わせ先
北海道障害者職業能力開発校
☎0125・52・2774

労働保険適用促進強化期間

11月は、労働保険適用促進強化期間です。事業主のみなさん、労働保険の加入はお済ですか。労働保険に加入して、従業員の方々が安心して働ける職場にしましょう。

労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称で、労働者の生活の安定、福祉の増進などを図ることを目的に、国が直接管理運営している保険です。農林水産業の一部を除き、労働者を一人でも雇用する事業については、法人・個人を問わず、加入が義務付けられています。

●お問い合わせ先
北海道労働局総務部労働保険徴収課
☎011・709・2311

通年雇用支援セミナー

季節労働者を雇用する事業主を対象としたセミナーを開催します。

セミナーは、「各種助成制度の説明」「地域建設業の生き残り戦略」「労災がおきてしまったら」の3つのテーマが設けられ、講演後は希望により個別相談も受け付けます。

・期日　11月22日（金）
・時間　13時30分～16時30分
・場所　ホテルローレル2階（新ひだか町）
・対象　町内の事業主、または、人事労務担当者

●お問い合わせ先
役場産業課・水産林務・商工観光・労政G
☎0146・47・2110

思春期保健相談

静内保健所では、思春期（小学生～高校生）におこる様々な悩みや困りごと（学校に行けない、リストカット、人間関係、暴力など）のある本人や家族、関係者を対象とした思春期保健相談を行っています。

開催日の指定は無く、随時相談希望があったときに、日程を調整しますので、お気軽にご相談ください。

・期日　相談者と協議し決定
・時間　13時30分～16時30分
・場所　静内保健所（原則）
・担当　北海道メンタルケアセンター心理士

●お問い合わせ先
静内保健所健康推進課
☎0146・42・0251

意見交換会の実施

日高北部森林管理署・日高南部森林管理署では、住民参加の森林づくりを進める一環として、国有林の森林計画に関しての説明を行うとともに、住民の皆様などからのご意見・ご要望をお伺いするため「日高流域の地域管理経営計画などの策定に関する地元意見交換会」を開催します。

・期日　10月30日（水）
・時間　13時～16時
・会場　新ひだか町公民館
・募集人数　30名
・募集締切　10月11日（金）

●お問い合わせ先
日高南部森林管理署
☎0146・42・1615

登記相談の取扱い

札幌法務局日高支局における登記の申請に関する相談については、平成25年3月18日（月）から予約制となっておりますで、不動産登記（所有権移転・抵当権抹消登記など）の申請書の作成に関する相談をされるお客様は、事前にご予約願います。

●ご予約・お問い合わせ先
札幌法務局日高支局
☎0146・42・0415

ひだか弁護士相談センター

○センター開設日
10月・16日（水）・21日（月）
23日（水）・28日（月）
30日（水）
11月・6日（水）

○利用を希望される方は、事前に必ずご予約ください。

●ご予約・お問い合わせ先
ひだか弁護士相談センター
☎0146・42・8373

赤い羽根共同募金実施中

今年も、10月1日から12月末日まで、赤い羽根共同募金運動を実施しています。皆さんのご協力をお願いします。

赤い羽根共同募金

ご寄附ありがとうございました。（敬称略）

●ふるさと納税（寄附金）
☆吉田　英弘　（100,000円）

●特別養護老人ホーム「恵寿荘」に役立ててと
☆堤　里美（カット布3袋，紙パンツ4箱）
☆石井　和子（古布1袋）
☆三宅　陽治（米50kg）
☆小松　キミ（古布2袋）
☆ルナ美容室（あんぱん50個）
☆高塚　桂子（古布1袋）
☆山藤　松雄（おむつ他1袋）
☆杉山　義行（こんぶ3kg，しいたけ2.5kg，かぼちゃ30個）
☆高橋　満郎（じゃがいも18kg，ささげ2kg，キャベツ4.5kg）
☆新冠ほくと園（カット布7束）
☆ボランティアグループちょぼら（カット布4袋）

●国保診療所に役立ててと
☆節婦ほろしりの里（カット布4袋）

新冠町社会福祉協議会へ

●福祉事業に役立ててと
☆下　邦子（古切手1袋）

●香典返しに代えて
☆畠山　由紀子（30,000円）

新冠ほくと園ふれあいフェスタ2013 御礼

9月22日（日）に行われました「ふれあいフェスタ2013」を、皆様のご参加とご協力で無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。
来年もよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 新冠ほくと園
ふれあいフェスタ実行委員会

OA・文具・家具・カーテン
株式会社 リバティーはしもと
Liberty Hashimoto
TEL(45)-7021 FAX(45)-7022
新冠町字北星町2-61（役場の目の前）

あなたの町のカー＆ライフサポーター!!
BRIDGESTONE カーケア＆タイヤショップ
SUZUKI ARENA スズキアリーナ新冠
新冠郡新冠町中央町5-28 TEL.(47)-2820
ココロも満タンに コスモ石油
新和SS (47)-5011 新冠SS (47)-3830
株式会社 伊藤商会

ブライダルフラワー・スタンド花・アレンジメント
フラワーつつみ
TEL 0146-47-4878
FAX 0146-47-4879
新冠町字東町 19-18
アレンジ教室開催中!

あなたの悩みにコタエを出します
すべての相談の相談料が無料になりました。
相談予約ダイヤル 0146-42-8373
平日 10:00～16:00（12:00～13:00除く）
札幌弁護士会 ひだか弁護士相談センター

ひだかひまわり基金法律事務所
弁護士 原 英士（札幌弁護士会所属）
＊借金・クレジットの返済 ＊多重債務 ＊交通事故 ＊離婚
＊相続・遺言 ＊家賃滞納・不動産 ＊悪徳商法 など
借金・交通事故については、初回相談無料です。☎(0146) 43−1206
日高郡新ひだか町静内御幸町 3-1-78-2 階（旧ウェリントンホテル向かい）

マザーリーフ事業（不妊治療費助成事業）

新冠町では不妊治療を受けている方の経済的負担の軽減を目的に、マザーリーフ事業（不妊治療費助成事業）を７月より実施しています。

特定不妊治療（体外受精・顕微授精）の場合は、１回あたり 15 万円まで、通算 150 万円を限度に助成します。また、人工授精の場合は、単年度当たり５万円を限度に、通算２年まで助成します。

詳細は町ホームページにも掲載しております。

●問い合わせ先
保健福祉課保健福祉グループ健康推進係　☎ 0146・47・2113

無料法律相談会

弁護士が当町を訪れ無料で法律相談を行う「全道一斉すずらん無料法律相談会」を、次のとおり開催します。

・日　時　11 月 19 日（火）13 時～ 16 時
・場　所　新冠町役場
・その他　10 月 15 日より予約を受け、定員になり次第締め切りとさせていただきます。相談料は無料です。

●申し込み・問い合わせ先
総務企画課総務グループ総務係　☎ 0146・47・2111

内閣府「一日前プロジェクト」エピソード No. 4

老人会を立ち上げ、訓練重ねた成果を実感

私の自宅のある町（400 世帯）は 2004 年７月 13 日の豪雨で、床上浸水しました。私の自宅も 120 センチの水位に達し、水に浸かった我が家を前に、「自然に対抗はできない。正しく理解し、つきあっていくしかない」という思いを新たにしました。

当時、私は自治会副会長の職にあり、2003 年ごろから老人会の立ち上げの準備をしていました。

このときの資料はすべて流されてしまい、立ち上げは 2005 年春に延びたのですが、これ以降は毎年、会員の避難訓練を重ねています。自治体から全世帯に配布された『三条市豪雨災害対応ガイドブック』も大いに役立てています。

楽しさを重視した交流会のような訓練が功を奏し、2011 年７月 29 日の豪雨による水害では会員は皆、スムーズに避難できた上、避難所では互いにいたわり合い、ワイワイ明るい雰囲気で過ごすことができました。

訓練に意味はないという声もありましたが、「絶対安全はない」と訴え、継続してよかったと思っています。2012 年は、この老人会の活動の一環で高齢者の支え合いマップを作成し、また一つ、安心の材料が増えました。

これからも避難訓練で築いた、顔の見える関係を大切にし、会員以外の高齢者も巻き込みながら、具体的な避難準備を充実させていきたいと思います。

「一日前プロジェクト」とは、地震や水害・雪害などの自然災害で被災した方々や災害対応の経験をもつ方から、色々なお話を聞かせていただき、小さなエピソード（物語）として取りまとめる活動です。
こうしたエピソードをとりまとめることで、災害をイメージし、自分のこととして感じてもらうことにより、明日起きるかもしれない災害に、今日（一日前）から備えていただくことを目的としています。

●問い合わせ先　総務企画課まちづくりグループ防災係 ☎ 0146・47・2498

役場からのお知らせ
－ Niikappu Town Office Information －

平成 26 年新冠町成人式の申し込みについて

平成 26 年１月 12 日、新冠町レ・コード館で成人式が開催されます。成人式への参加に当たりましては、事前の申し込みが必要ですので、対象者で参加を希望される方は、期日までに、教育委員会社会教育課までご連絡ください。

１．対象者
平成５年４月２日から平成６年４月１日までに生まれた方で、次の条件を満たす方。
①現在、新冠町在住の方
②新冠町出身の方

２．申込方法
11 月 22 日（金）までに、社会教育課生涯学習グループ社会教育係（レ・コード館）へ、電話かＦＡＸ、メールのいずれかで申し込みください。
申し込みの際は「成人者の氏名」「生年月日」「現住所」「案内状の送付先」をお伝えください。なお、申し込みはご家族の方でもかまいません。

３．成人式開催日
平成 26 年１月 12 日（日）12 時から
※ 11 時 20 分までに集合してください。

４．開催会場
新冠町レ・コード館

５．申し込み・問い合わせ先
社会教育課生涯学習グループ社会教育係
（レ・コード館内）
☎　0146・45・7833
FAX　0146・45・7778
mail　record01@cocoa.ocn.ne.jp

図書プラザだより

問い合わせ先
社会教育課　図書プラザ
☎ 0146・45・7777

今月の一冊

素顔の新美南吉

斎藤卓志／著

「ごんぎつね」「でんでんむしのかなしみ」「手ぶくろを買いに」で知られ、今年生誕１００年を迎える童話作家・新美南吉。

結核を患い、若くして亡くなった彼の残された膨大な日記・手紙を丹念に読み解き、“人としての原点を求めつづけた”南吉の知られざる生きざまを描く。

アニマル号（移動図書館車）運行日程

10月16日	12：45 ～ 13：10	新冠中学校
17日	10：10 ～ 10：30	朝日小学校
22日	10：10 ～ 10：30	朝日小学校
	10：45 ～ 11：00	こたにがわ学園
24日	10：10 ～ 10：30	朝日小学校
	11：00 ～ 11：20	おうるの郷
25日	10：45 ～ 11：00	太陽郵便局
	15：05 ～ 15：35	新冠小学校
	15：40 ～ 15：55	にこにこくらぶ
	16：00 ～ 16：30	認定こども園ド・レ・ミ
	16：35 ～ 16：50	あいあい荘（東町生活館）
11月8日	12：40 ～ 13：05	認定こども園ド・レ・ミ
	15：05 ～ 15：35	新冠小学校
	15：40 ～ 15：55	にこにこクラブ
	16：00 ～ 16：15	あいあい荘（東町生活館）

「新着ガイド」

未来は言葉でつくられる	細田　高広
時代小説で読む！北海道の幕末･維新	鷲田　小彌太
仕事は半分の時間で終わる！	津曲　公二
体罰はなぜなくならないのか	藤井　誠二
巨大戦艦大和	NHK取材班
大人の恐竜大図鑑	土屋　健執
「スマホ症候群」に気をつけて！	木津　直昭
日本建築集中講義	藤森　照信
ダンボール織り機でおしゃれこもの	蔭山　はるみ
「おうち外食」完コピレシピ107	papikun
ママとパパも喜ぶいまどきの幸せ孫育て	ぼうだ　あきこ
写真、撮られ術。	永田　昌徳
レゴブロックの世界	ダニエル･リプコーウィッツジェ
おれたちの約束	佐川　光晴
愛ふたたび	渡辺　淳一
旭山動物園ARどうぶつ図鑑	旭川市旭山動物園

図書プラザのお知らせ・行事予定

☆イベントカレンダー
10月22日（火）10：30～　あかちゃん絵本の読み聞かせ
10月26日（土）13：30～　びっくり箱のおはなし会

☆秋の読書週間行事のお知らせ

今年も秋の読書週間が近づいてまいりました。図書プラザでは、10月26日（土）～11月10日（日）の期間に、特別展示・映画上映会・体験事業などの催しを予定しております。

詳細については、まなボード11月号にてお知らせ致します。

☆リサイクル市に向けて、
古本を募集しています！

文芸書・実用書・コミック・絵本などご家庭で不要になった再利用可能な本をご提供くださる方は図書プラザまでお持ちください。

（なお、百科事典・辞書類・参考書・問題集は、ご遠慮させていただきます）

<リサイクル市>
期間：10月26日（土）～11月10日（日）
時間：図書プラザ開館時間中

ふるさとカルタ紹介⑬

㋕　新冠駒

馬産地新冠にちなみ親しまれている、大型の将棋の駒に馬の字を刻印した品である。馬の字は逆になっており、「左馬」といわれ、ウマを逆にするとマウ（舞う）になり、舞いはめでたい席で催されることから、ひとつの縁起物とされている。

駒は丸みを帯びており、円満で平和な家庭を築けるように、また若駒の意味が込められ、すくすくと成長する姿をあらわしている。全国から注文がよせられ贈答品として知られている。

冠照の　作る将棋の　左駒

冠照の作る将棋の左駒

※ふるさとカルタは、新冠町開町130年・町制施行50年記念事業の一環として作製したもので、読み札の題材を「新冠郷土文化研究会」が選定し、そのお題に沿って「新冠俳句の会」が読み札語句を、「新冠アトリエの会」が絵札を担当して作り上げた町民手作りのカルタです。

発行・編集　新冠町総務企画課まちづくりグループ広報統計係
〒059-2492　北海道新冠郡新冠町字北星町３番地の２
TEL 0146・47・2111　FAX 0146・47・2600

キラリと光る レ・コードなまち　○団体・サークル紹介○

今月号は、スポーツの体験教室などを開催する「ＮＩ・ＳＰＯ（新冠スポーツクラブ）」を紹介します。

【プロフィール】
　ＮＩ・ＳＰＯは、平成 19 年に組織され、平成 21 年からは体育協会の傘下として、子どもから高齢者まで、誰でも気軽に参加できるスポーツ活動を通じて、健康で活力ある地域づくりに寄与することを目的に活動を続けています。会員は現在 207 名です。
　１年を通して様々な活動をしておりますが、特徴的な事業についてご紹介します。

【主な事業】
○定期的な活動（毎週火・水・金曜日開催）
　ラージボール卓球やダンスエクササイズ、スポーツ吹き矢など軽スポーツを行います。成人向けで、誰でも参加できます。

○親子ふれあい体操教室（月１回開催）
　未就学のお子さんと保護者が対象で、簡単なリズム体操や運動を交えた体操教室です。

○プロ講師によるスポーツ教室（不定期開催）
　コンサドーレ札幌サッカー教室、日本ハムファイターズ野球教室など、第一線で活躍する選手や指導者を講師に招くスポーツ教室です。

○スポーツ体験教室（不定期開催）
　町内のスポーツ少年団の協力をいただきながら、　乗馬・バレーボール・サッカー・野球・剣道・空手・柔道・バドミントン・ドッチボールなどの体験教室を開催。各種少年団活動の体験の機会にもなっています。対象は小学生です。

【募集内容】
　各種事業・教室に参加したい人は誰でも参加できます。事務局はスポーツセンターにありますので、詳細は直接問い合わせ願います。
（スポーツセンター☎ 0146・47・2922 ／担当：地形）

小竹町長の動静＆まちのできごと：９月分

●３日、北海道国民健康保険団体連合会理事会（札幌市）、北海道競馬（門別競馬場）●４日、第 39 回新冠町老人スポーツ大会、北海道市町村総合事務組合議会定例会（札幌市）●５日、北海道軽種馬振興公社理事会（門別競馬場）●７日、恵寿荘敬老会●９日、節婦金刀比羅神社完成式典● 10 日、アイバ祭● 11 日、全国土地改良大会式典（札幌市）● 12 日、「救急の日」記念講演会（新ひだか町）● 15 日、節婦自治会敬老会● 16 日、新冠小学校下敬老会、朝日小学校下敬老会、地方財政基盤の充実・強化に関する要請（東京都）● 18 日、第 31 回イチャルパ● 19 日、新冠町町民防災講座● 22 日、新冠ほくと園ふれあいフェスタ 2013 ● 23 日、第 67 回シャクシャイン法要祭● 30 日、浦河赤十字病院精神科存続要請（東京都）

人のうごき
（平成 25 年９月末現在）

人　口	5,779 人	（前月比　－　10人）
男	2,796 人	（前月比　－　5人）
女	2,983 人	（前月比　－　5人）
世　帯	2,694 人	（前月比　－　5世帯）